

## ■イタリア：国家エネルギー戦略案、発表

パッセーラ経済発展相は2012年10月16日、エネルギーコストの削減、EUの環境関係の全目標の超過達成、供給保障の強化、エネルギー部門の産業の発展、の4つを主な目標に据えた新たな国家エネルギー戦略案を発表した。イタリアで総合的な国家エネルギー計画が作成されるのは約20年振りである。政府が示した戦略案では2020年時点で達成を目指すターゲットとして、エネルギー卸売価格の欧州水準並みへの引き下げ、現在620億ユーロ/年のエネルギー輸入代金を140億ユーロ/年ほど削減、CO<sub>2</sub>排出量を2005年比で19%削減（現行のイタリアの目標は18%削減）、エネルギー消費量を24%削減（EU目標は20%）、などが挙げられている。このため、今後2020年までに再エネやエネルギー効率化部門、および従来部門（電力・ガス系統、LNG基地、貯蔵設備、炭化水素探査）で1,800億ユーロの投資が想定されている。その大部分は民間部門での投資でされるが、一部は補助金による支援が計画されている。戦略案は経済発展省のホームページに掲載されており、政府は1カ月間パブリックコメントを受け付けることになっている。これと並行して議会委員会など関係機関や団体との協議を経た後に討議の結果を共有する目的で公的会議を開催し、最終的な戦略文書を取りまとめる予定である。